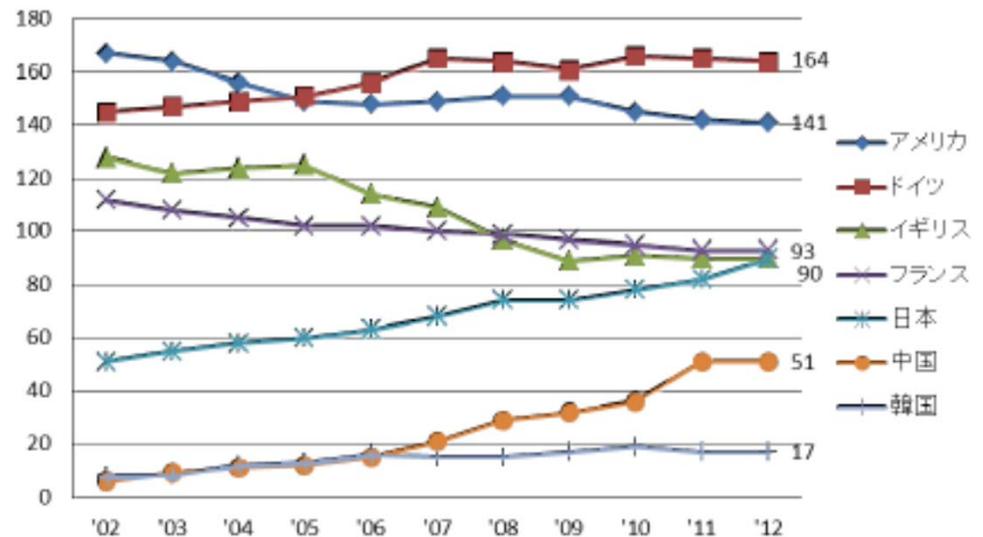
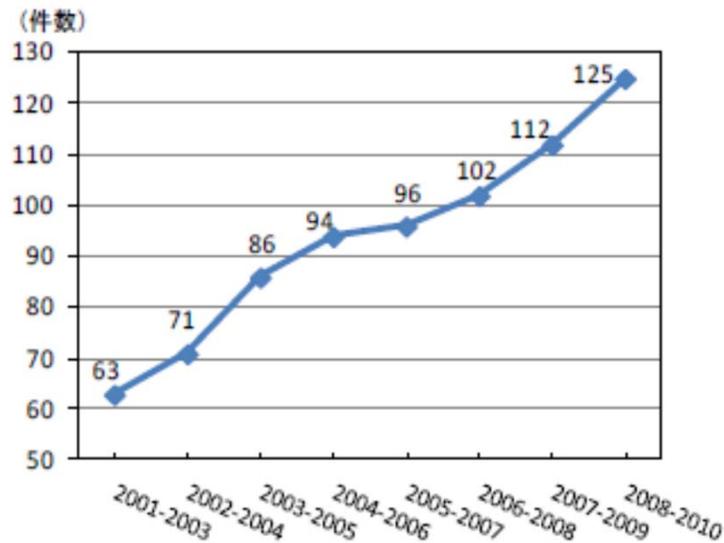


○ 国際標準化戦略目標（2006年11月29日 甘利経産大臣（当時）のイニシアチブで官民合意）として、ISO、IEC国際標準幹事引受数と国際標準提案件数の目標を設定。

- ✓ 欧米諸国並みのISO、IEC国際標準幹事引受数に増加させる。
 -2015年目標に対して、ドイツ、米国に次ぐ、イギリス、フランスと3位集団レベルまで増加（2012年）
- ✓ 国際標準の提案件数を2015年までに倍増させる。（2006年比）
 -2015年目標までのほぼ中間点で、約1.4倍まで順調に増加（2010年）



日本からの国際標準提案件数推移 (ISO+IEC)

各国のISO/IEC国際幹事引受数の推移

出典：経産省「国際標準化政策の取組強化」(H25.10)

図 49 WEFイノベーションランキング ～評価項目ごとのランキング～ 3.(4) -1

○WEF(World Economic Forum)によるイノベーションランキングにおいて、日本は第4位。
8つの評価項目毎の順位は以下の通り。調達、産学連携の順位が低い。

()内は評価点数、7点満点

イノベーション評価項目	フィンランド	スイス	イスラエル	日本	アメリカ	ドイツ	シンガポール
イノベーションランキング (2014-2015)	1 (5.78)	2 (5.70)	3 (5.56)	4 (5.54)	5 (5.49)	6 (5.47)	9 (5.18)
Capacity for Innovation(of companies)	5	1	3	7	2	4	18
Quality of scientific research institutions	10	1	3	7	4	8	11
Company spending on R&D	3	1	7	2	4	5	10
University-industry collaboration in R&D	1 (6.0)	3	7	16 (5.0)	2 (5.8)	10 (5.3)	5
Government procurement of advanced technology products	22	31	9	21 (4.1)	8 (4.4)	16	4 (5.1)
Availability of scientists and engineers	1	24	10	3	5	18	16
PCT patent applications	4	1	5	2	11	6	13
Intellectual property protection	1	4	33	7	20	21	2

※各評価項目に関しては各国の評価者が申請した点数を高い順にランキング

・日本再興戦略（2014/6/24, 閣議決定）

官公需についての中小企業者の受注の確保に関する法律を見直し、創業間もない企業（中小ベンチャー企業）の政府調達への参入促進

・平成26年度 中小企業者等に対する特定補助金等の交付の方針（2014/6/27, 閣議決定）

ベンチャー企業（創業10年以内）等については、研究開発能力はあるが販路が乏しいことが想定されることから、官公需施策等の活用により受注機会の確保に努める。

・平成27年度 科学技術イノベーションに適した環境創出に係る「重点化対象施策」及び「パッケージ化」について（2014/9/19, 総合科学技術・イノベーション会議）

創業10年以内のベンチャー企業については、官公需施策の活用による受注機会の確保に努める。

・「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2014/12/27, 閣議決定）

信用力が十分でない創業間もないベンチャー企業は、官公需の受注機会が限られていることから、官公需への参入を促進する必要がある。

・産業競争力の強化に関する実行計画（2015/2/10）

創業10年未満の新規中小企業者について官公需における受注機会の拡大を図るため、必要な法的措置を速やかに講じる。

・安倍首相 施政方針演説（2015/2/12）

政府調達では、創業から10年未満の企業を優先するための枠組みを創り、新たなビジネスに挑む中小・小規模事業者の皆さんのチャンスを広げてまいります。